

こすずめちょうとのやつ
小雀町殿谷ツ遺跡

横浜市戸塚区No.193

調査期間 2019年10月1日～2020年3月13日

所在地 横浜市戸塚区小雀町

時代 近世、中世、縄文

調査原因 国土交通省関東地方整備局による高速横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

遺跡位置 JR大船駅の北西約2.6km
柏尾川の支流、関谷川左岸の丘陵上～微高地上



主な調査成果

表土下に近世、中世、縄文時代の三つの遺構面と遺物包含層が認められました。

遺構は、丘陵上の平坦部と斜面部で構成される上段で近世、中世、縄文時代の三つの時代の遺構面、斜面部下にある微高地上の平坦部で構成される下段で近世の遺構面が確認されました。

近世では、段切り2箇所、溝状遺構1条、土坑7基、ピット12基が検出され、遺物は陶磁器、銭貨、金属製品が出土しています。中世では溝状遺構1条、土坑2基、ピット4基が検出されています。縄文時代では土坑1基が検出され、遺物は石器が出土しています。



下段調査区 近世面全景



中世溝状遺構